

東京データプラットフォーム協議会 第7回施設系データ集約WG

事務局資料

令和5年2月17日

令和4年度 第7回施設系データ集約WG アジェンダ

- 1. これまでの振り返り**
- 2. 前回WGからの各活動の更新**
- 3. ケーススタディ事業の検討内容の共有**
- 4. 来年度以降の活動に関するお知らせ**

WG活動拡大により、ユースケース創出の取組を拡充 TDPF事業開始に向けた準備を加速

東京データプラットフォーム協議会

推進会議



様々な分野の有識者等で構成



テーマごとの関係者
(企業等)で構成



アドバイザー

Slack

コミュニティメンバー間の情報交換

実施内容

推進 会議

- WG・イベントの取組や関連事業の進捗状況報告
- 注力分野や事業計画（案）等の共有・討議

WG

- ユースケースの創出に向けた活動・議論を実施
- 各分野のデータ利活用の課題や対応策について協議
- WGを3から5つへと分野拡充とともに、ケーススタディ事業を活用してユースケース創出を更に推進

コミュ ニティ

- WG活動の推進や協議会メンバーのネットワーク拡大・情報交換の場（Slackを活用）

施設系データ集約WGについて

昨年度は、データ集約モデルケースの確立に向けた検討を西新宿エリアで実施
今年度は、データ集約モデルケースの確立や、他エリア・施設への拡大を検討

TDPFにおける WGの目的

TDPFの利用拡大に向け、データ利活用における課題の協議、ニーズの具体化やルール・プロセス等の整備を通じ、ユースケース創出を目指す

～令和3年度

- 令和2年度バリアフリー移動支援情報提供実証にて、様々な施設データの掛け合わせが有用であること、特に外出先のトイレ付帯設備等が一番ニーズが大きいデータは乏しい事を議論
- 議論を受け施設系データ集約WGが発足。トイレのデータを収集すると共に、施設系データの収集の方法や課題を検証を西新宿エリアで実施

成果

- トイレデータそのものと、データ集約作業を効率化するためのデータフォーマット案を作成できた
- トイレを題材に、具体的な活用方法（ニーズ）や、継続的なデータの維持・更新のあり方について議論することができた

主な課題

- ① トイレの施設データを実際に収集して得た気づきを、トイレ以外にも横展開していくことが必要
- ② TDPF利用拡大に向け新たな施設データニーズの探索が必要

令和4年度

- トイレを題材として、データ収集の方法をモデルケース化し、データ活用の推進を目指す
- TDPFの利用拡大を目指し、他エリア・他施設へ拡大を図る（渋谷エリアで実証）

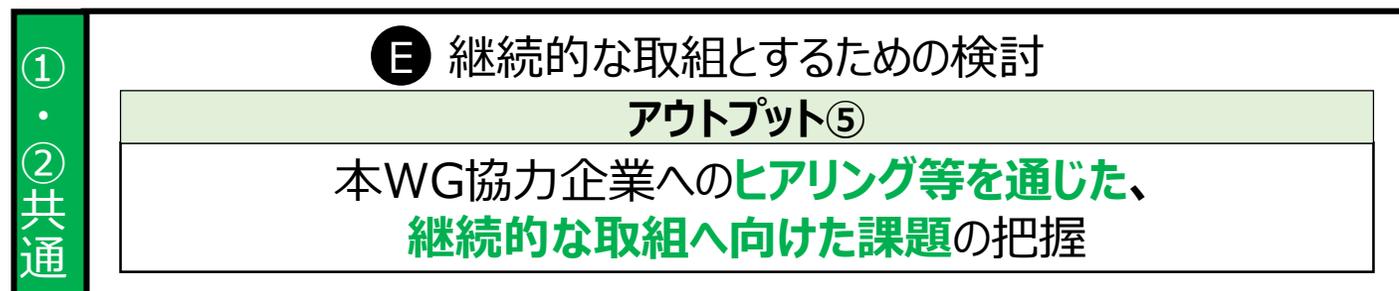
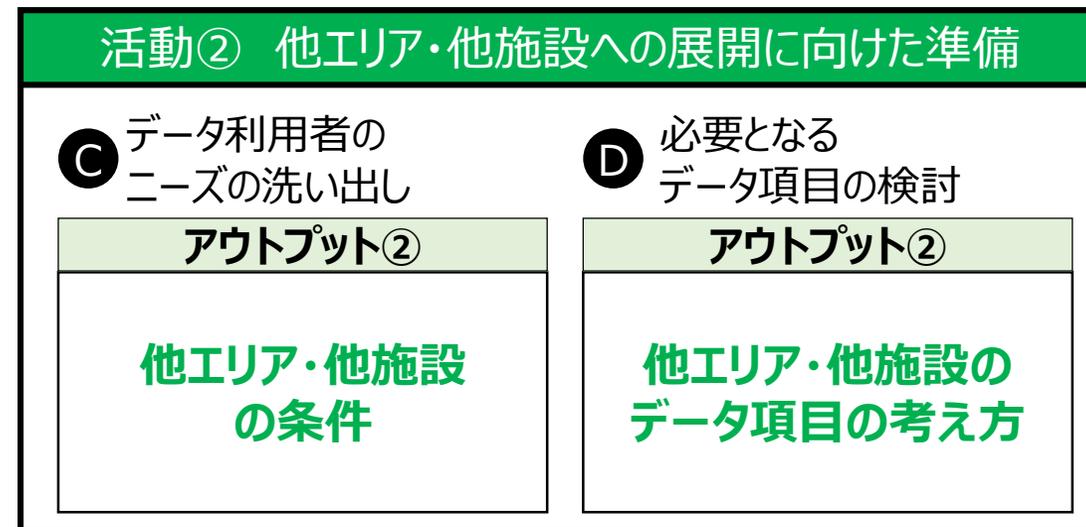
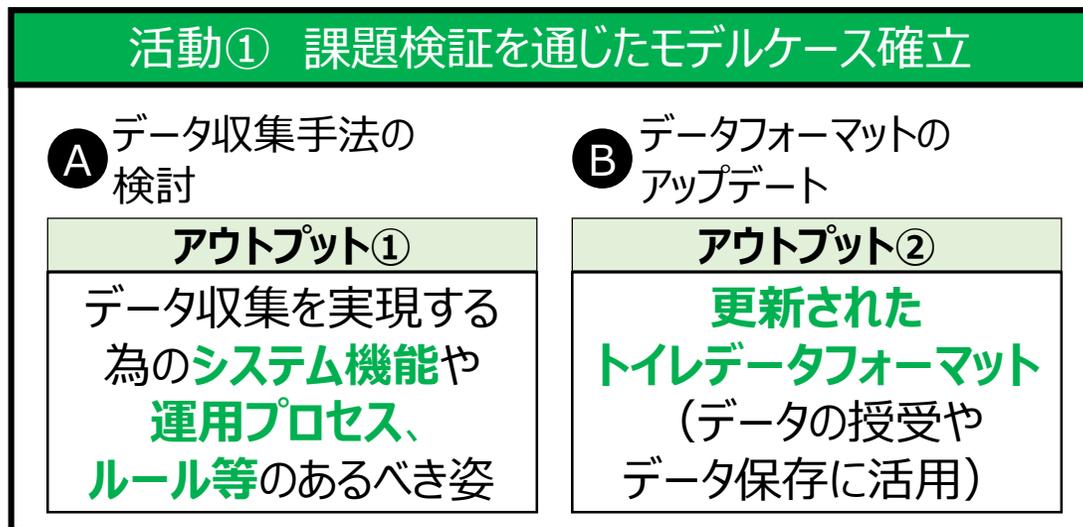
活動①
課題検証を通じたモデルケース確立

活動②
他エリア・他施設への展開

更に他エリア・他施設へ取組み拡大

今年度の取組内容と想定アウトプット

施設系データ集約の仕組み化の準備に資するアウトプットを創出

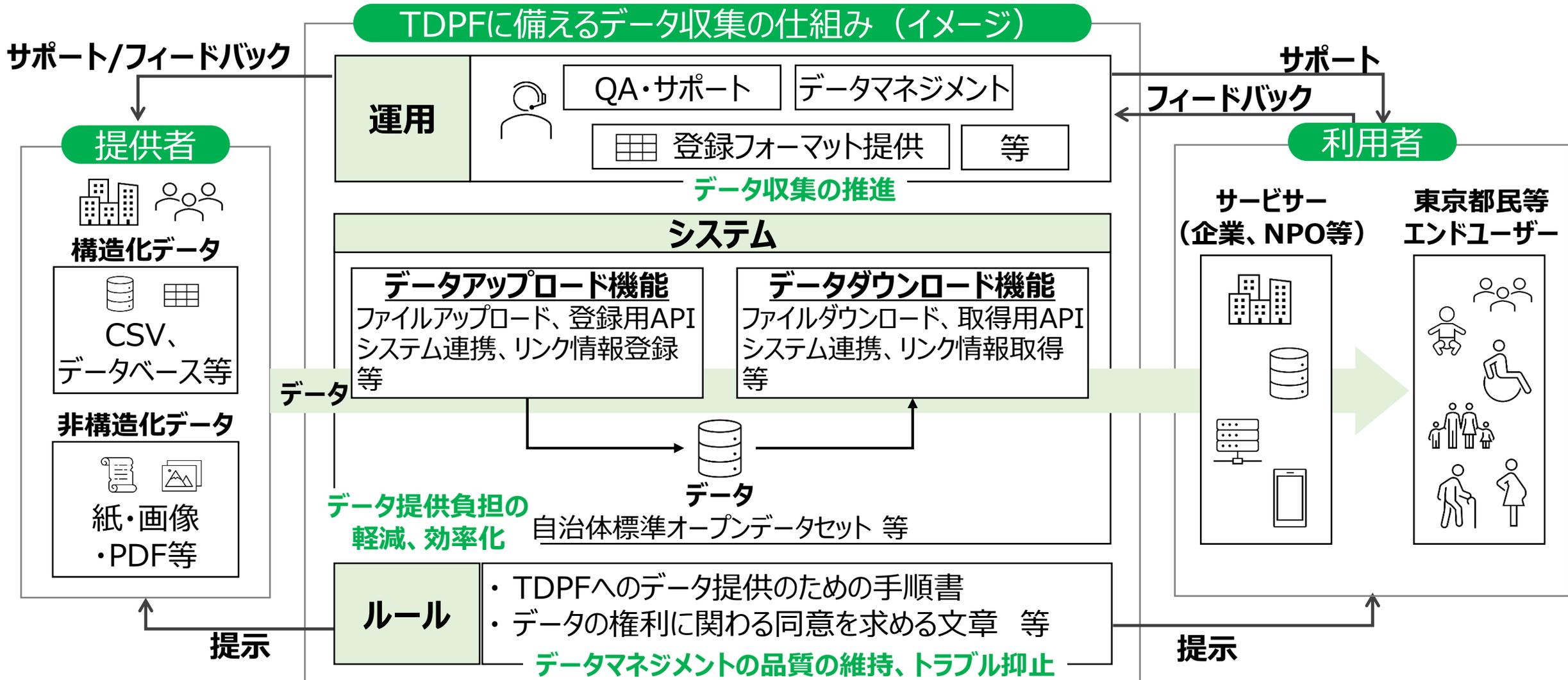


データ収集に関連する機能等を要望として整理し運用体制等の検討に役立てる

施設系データの拡充を通じ、民間事業者等によるサービス実装へ

活動①の検討事項

TDPFに施設系データを効率的に収集するための仕組みを検討



活動②の検討事項

他エリア・他施設展開に向けて、展開先の条件や、データ項目検討時に考慮すべきことを整理した

展開先条件（案）

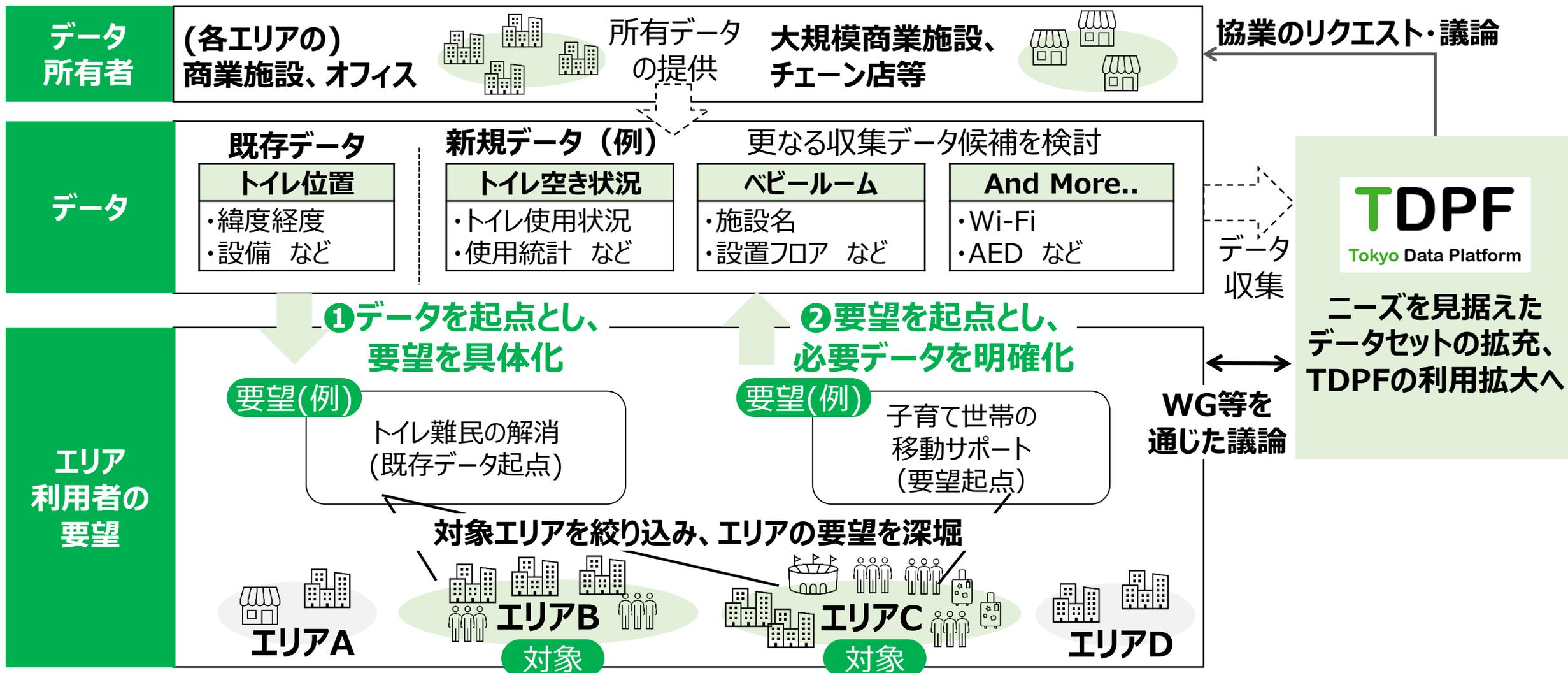
対象となる エリア・施設	ニーズ	解決したい課題が明確	「トイレ難民を救う」など、データで解決する課題が明確である
		提供者と利用者が明確	データ提供依頼先や集約後の利用者の目星がついている
		TDPFに集約する価値が明確	事業者の垣根を超えたデータ収集等のTDPFとしての意義がある
	容易性	来訪者や施設数が多い	多くの利用者や提供データが見込めるエリアである
		推進協力者がいる	スマートシティ関連取組中/検討中の自治体などの協力者がいる

データ項目検討時に考慮すべきこと（案）

データ項目	ニーズ	展開先で必要となるデータ	ニーズを満たすデータ項目を明確にする
	運用性	TDPF共通管理項目	施設に依らず共通で持つべき項目を持たせる
		既存データモデル	GIF(政府相互運用性フレームワーク)等のデータモデルを参照し、データ設計や連携作業・調整作業を効率的に行えるモデルにする

活動②の検討推進のイメージ

データ所有者やWG参加者と共に、データと要望の両面の検討を行い、
エリア選定・データ拡充の準備を実施



令和4年度 第7回施設系データ集約WG アジェンダ

1. これまでの振り返り
2. 前回WGからの各活動の更新
3. ケーススタディ事業の検討内容の共有
4. 来年度以降の活動に関するお知らせ

前回WGからの取組方針

活動①は前回WG内容を一部具体化し、本WGとしての要望としてとりまとめ
活動②は本WGでのユースケース案をベースに展開に向けた準備を実施

活動	取組方針
活動① 課題検証を通じた モデルケース確立	A.データ収集手法の検討 TDPFへの要望として前回WGの発表内容の一部を具体化
	B.データフォーマットのアップデート (昨年度検討のトイレデータ) デジタル庁作成「自治体標準オープンデータセット」の公衆トイレを参考に、 項目の追加削除や必須・任意 の更新を検討 検討結果をデジタル庁にフィードバック
活動② 他エリア・他施設への 展開に向けた準備	C.データ利用者のニーズの洗い出し
	D.必要となるデータ項目の検討 施設系データのユースケース案を企業や団体と意見交換し、 展開に向けた戦略や継続的な取組とできるかを検討
活動①、② 共通	E.継続的な取組とするための検討

活動①のアップデート結果 | データ収集手法

ケーススタディ事業者へのヒアリングやデータ整備事業の検討を基に データ収集手法に関する要望を整理

他事業からのインプット

TDPFへの要望

ケーススタディ

データ整備

データ提供の負荷軽減策

提供者と運営主体がデータをリアルタイムに同時に確認できる環境を用意することで提供者の負荷を軽減

データのバリデーションチェック

必須入力はハイライトする等の工夫

提供者とのコミュニケーション

月に数件程度であればメール・電話でデータ更新依頼等をすればいいが、コミュニケーション頻度が増えた場合は別の方法の検討も必要

TDPFによるデータクレンジング

提供者からの依頼があればTDPFがクレンジングを行い、提供者にデータを返却しTDPFに提供

効率的なデータバリデーションチェック 体制や環境等の準備

TDPFにデータ提供後に内容を確認するのではなく、データ提供の前段階でデータを事前確認できる体制や環境等を準備することで提供者の負担を軽減

提供者との Webコミュニケーション機能の実装

過去の問い合わせ履歴の管理が行える機能を想定

データクレンジングフローとの連携

クレンジング依頼やデータ授受をTDPF上で行うかを検討

活動①のアップデート結果 | データフォーマット

昨年度のフォーマットから項目の追加・削除は無く、必須/推奨/任意の区分、もしくは項目名を自治体標準オープンデータセットと整合

変更箇所		今年度		昨年度	
項目名	区分	項目名	区分	昨年項目名	昨年区分
○	—	全国地方公共団体コード	任意	都道府県コード又は市区町村コード	任意
○	○	ID	推奨	NO	任意
—	○	名称_英語	推奨	名称_英語	任意
○	—	所在地_都道府県	必須	住所（昨年は1つの項目に記載）	必須
○	—	所在地_市区町村	必須	住所（昨年は1つの項目に記載）	必須
○	—	所在地_町字	必須	住所（昨年は1つの項目に記載）	必須
○	—	所在地_番地以下	必須	住所（昨年は1つの項目に記載）	必須
○	—	建物名等(方書)	任意	方書	任意
○	—	バリアフリートイレ数	必須	多機能トイレ数	必須
○	—	バリアフリートイレ（オストメイト）	任意	多機能トイレ（オストメイト）	任意
○	—	バリアフリートイレ（おむつ交換台）	任意	多機能トイレ（おむつ交換台）	任意
—	○	画像	推奨	画像	任意
—	○	画像_ライセンス	推奨	画像_ライセンス	任意

(参考) データフォーマット全項目

項目の追加・削除は無く、区分もしくは項目名を自治体標準オープンデータセットに整合

#	項目名	区分*
1	全国地方公共団体コード	
2	ID	推奨
3	地方公共団体名	推奨
4	名称	
5	名称_カナ	
6	名称_英語	推奨
7	町字ID	
8	所在地_都道府県	必須
9	所在地_市区町村	必須
10	所在地_町字	必須
11	所在地_番地以下	必須
12	建物名等(方書)	
13	設置フロア	
14	設置位置	必須
15	緯度	推奨
16	経度	推奨
17	施設URL	
18	男性トイレ総数	推奨
19	男性トイレ数 (小便器)	
20	男性トイレ数 (和式)	
21	男性トイレ数 (洋式)	
22	男性トイレ (オストメイト)	
23	男性トイレ (おむつ交換台)	
24	女性トイレ総数	推奨

#	項目名	区分*
25	女性トイレ数 (和式)	
26	女性トイレ数 (洋式)	
27	女性トイレ (オストメイト)	
28	女性トイレ (おむつ交換台)	
29	女性トイレ数 (パウダーコーナー)	
30	男女共用トイレ総数	推奨
31	男女共用トイレ数 (和式)	
32	男女共用トイレ数 (洋式)	
33	バリアフリートイレ数	必須
34	バリアフリートイレ (オストメイト)	
35	バリアフリートイレ (おむつ交換台)	
36	車椅子使用者用トイレ有無	必須
37	乳幼児用設備設置トイレ有無	必須
38	授乳室	
39	オストメイト設置トイレ有無	必須
40	利用開始時間	推奨
41	利用終了時間	推奨
42	利用可能時間特記事項	
43	画像	推奨
44	画像_ライセンス	推奨
45	備考	
46	最終更新日	

※区分空白は任意

活動②の取組アプローチ概要

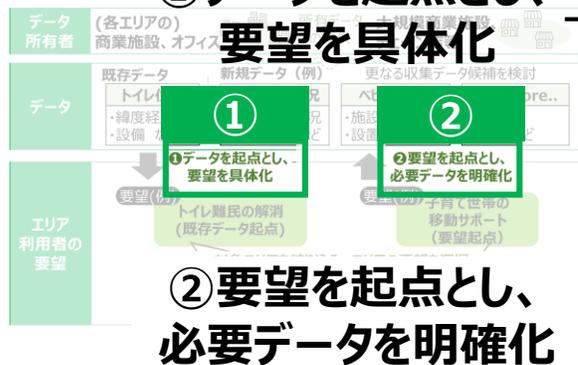
展開先条件等を踏まえ、課題やデータ起点でユースケース案を作成。関連事業者に想定しているニーズやデータ、課題について意見交換し今後の活動に活用

活動②の目指す姿

展開先条件
(利用者ニーズ等)

データ項目検討時に
考慮すべきこと
(必要データは何か)

活動②の検討推進のイメージ



ユースケース仮説検討

ユースケース検討の観点

[データ起点のユースケース導出]
事業者が既に保有するデータで
他事業者の課題を解決できないか

[要望起点のユースケース導出]
既存のデータ関連ビジネスを
TDPFでサポートできないか

事業者へのヒアリング

企業と意見交換

検討したユースケースの概要や、
想定するニーズ、関わるステークホルダー
のメリットなどを事業者の説明

議論を通じ、課題等を洗い出し、
今後の活動の方針や内容に活かす

(参考) 今回のユースケース案の導出方法

今回はTDPFの注力分野や施設系データのテーマを念頭に、
データ利活用事例等を調査しユースケース案を作成

① ユースケースの方向性

TDPFの意義や、施設系データ集約WGのテーマである「まちづくり」に関連するものとする

TDPFの注力分野に沿うこと

- 中央省庁や民間企業の取組と重複が生じない
- 広域自治体として取り組む必要性がある
- 行政の介入なくして埋まらない需給ギャップが相対的に大きい
- 個人情報を含まないデータで十分な価値提供ができる

施設系データを活用すること

- TDPFの注力分野である「まちづくり」に寄与できる

第6回WGで検討した展開先条件、
データ項目検討時のポイントを考慮

② 調査とユースケース案の作成

方向性を踏まえ、東京都の論点や都民の課題、利活用事例などを
参考にユースケース案を作成

東京都の論点

東京都公表資料

都民の課題

都知事杯オープンデータハッカソン発表内容

データ利活用事例

デジタル庁オープンデータ利活用事例

データ利活用に関する民間調査

民間企業実施のデータ利活用に関する
各種アンケートデータ

データテック企業

データの利活用をビジネス化している企業を調査

ニーズやデータを起点とし、ユースケース案を検討

ユースケース案の導出 (1/3)

データ関連ビジネスを展開しており、データの提供者・利用者となりうる4事業者を対象にユースケースを検討

事業概要

公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団

都民の生涯にわたるスポーツの普及振興を図ることを目的に、東京都政策連携団体としての各種スポーツ事業の実施、指定管理者としての都立スポーツ施設の管理運営など様々な事業を展開



スポピタ

様々なコンテンツを発信するスポーツ東京案内サイト
スポーツ施設検索機能などがある

株式会社Review

インターネットでは探せない、検索できない、構造化されていなくて活用できない街の情報を人とITの力で集約、デジタル化、構造化することでデータ活用をサポートするプラットフォームを提供



macchi マッチ

インターネットで見つけられない圧倒的な情報量を人海戦術でデータ化

リアルワールドゲームス 株式会社

地域の課題解決の為に3Dの地図エンジンを駆使してウォーキングアプリを提供

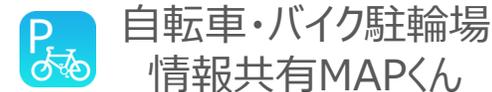


ビット
にやんたーず

スマートフォンアプリを用いて自治体等と協力し、地域経済活性化と健康増進を目指すウォーキングイベントを実施

合同会社ファービヨンド

スマートフォンアプリ制作事業など、インターネットの力を信じ日本だけではなく世界中に貢献できる様々なサービスを展開



自転車・バイク駐輪場
情報共有MAPくん

ユーザー投稿型のマップ情報サイト。全てユーザーによる投稿で、雑誌や広告サイトにはないリアルなスポット情報が満載

アプリ利用者の行動ログ

空き地、空きテナント、喫煙所、AED、耕作放棄地 など
情報量：4,670,575件
2021/4時点

ユーザー投稿により得られたトイレや駐輪場等の位置情報

都内の様々な種類の運動施設情報
(運動種目数は80以上、
公民含め約3,000施設を掲載)

サービス
(一部)

保有データ
(一部)

ユースケース案の導出 (2/3)

要望起点のユースケース導出

仮説①運動施設情報検索サイト (SPOPITA) のデータ数増加に資する官民の運動施設情報を提供



TDPF利用のメリット

- SPOPITAに掲載する施設やイベント情報の拡充
- 官民の運動施設データを1つのプラットフォームから入手

TDPFの機能・役割

- 官民データを1つのプラットフォームから提供

データ起点のユースケース導出

仮説②住宅情報サイトにReview様が収集されている街のデータを提供



TDPF利用のメリット

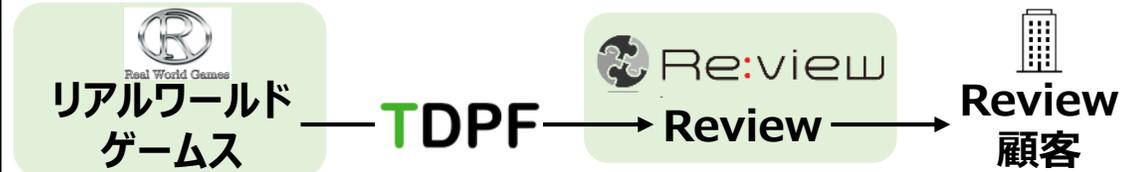
- 住宅情報サイトへの営業チャネルとして活用
- サービス横展開に向けた実績や事業モデル作り

TDPFの機能・役割

- 事業者への営業チャネル
- 提供者と利用者のマッチング

要望起点のユースケース導出

仮説③リアルワールドゲームス様のデータでReview様の販売データ数を増加



TDPF利用のメリット

- 取得データによる収益確保
- データ販売の手間削減
- 顧客に提案できるデータ数の拡充

TDPFの機能・役割

- 提供者と利用者のマッチング

データ起点のユースケース導出

仮説④官民のデータでファービヨンド様の施設位置情報サービスのデータ数を増加



TDPF利用のメリット

- 施設位置情報サービスに掲載する施設数を増加
- 官民のデータ収集の手間削減

TDPFの機能・役割

- 提供者と利用者のマッチング
- 官民データを1つのプラットフォームから提供

ユースケース案の導出 (3/3)

要望起点のユースケース導出

仮説①運動施設情報検索サイト (SPOPITA) のデータ数増加に資する官民の運動施設情報を提供

- 自分たちだけでは集められないデータをTDPFから取得できそうな事に価値を感じる
- 都内の運動施設データが都民のQoL向上に繋がるなら、データ利用者の立場だけでなく、**データ提供者としても関わっていききたい**
- SPOPITAで掲載情報の範囲を広げる場合は特に、官民のデータが集まるPFは活用の可能性を感じる。

要望起点のユースケース導出

仮説③リアルワールドゲームス様のデータでReview様の販売データ数を増加

- 都内62区市町村のデータがフォーマットが揃った状態で提供されると魅力
- TDPFを活用することで**データを利用したい人を探す手間を削減出来る**点が魅力
- 提供者視点だと、**どんな利用者がどんなデータを欲しがっているかを事前に知りたい**

データ起点のユースケース導出

仮説②住宅情報サイトにReview様が収集されている街のデータを提供

- TDPFへデータ提供すること自体は歓迎
- TDPFがフィルターになり、**信頼できる企業が参加するプラットフォーム**である点が魅力
- 市場が黎明期のデータビジネス業界において、**東京都からの紹介でマッチング**できる点も魅力
- アプローチ出来ていない企業への営業チャネルとしての活用**にも期待している

データ起点のユースケース導出

仮説④官民のデータでファービヨンド様の施設位置情報サービスのデータ数を増加

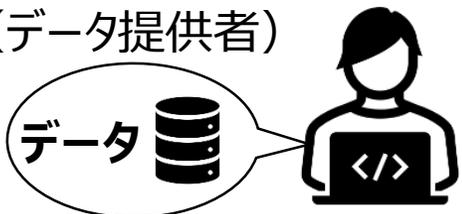
- 自治体標準オープンデータセットは**自治体が出しているデータである点に安心感 (価値) を感じる**
- 提供された**データ品質に問題があった場合の対応が明確になっていると利用しやすくなる**
- データの提供側になることも可能ではあるが、**ニーズがあるのかを見極めることが先**になると考える

意見交換で明らかにできた事と今後の方向性

ユースケース案を協働で作成したことでTDPFへの参加に前向きなご意向を得た提案によりデータや事業者を増やし、TDPFの魅力を高め、自発的拡大を促進

意見交換で明らかになったこと

データを使ってほしい事業者
(データ提供者)



- データのニーズがわかる
- 顧客が見つかる 等

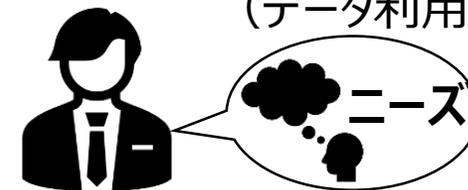
施設系データ集約WG

事業者へのユースケースの提案

TDPFの価値理解

TDPF参加に前向きなご意向

データを利用したい事業者
(データ利用者)



- 新しいデータが見つかる
- 安心してデータを使える 等

今後の方向性

データ提供者ターゲット候補 (例)

データ関連サービス提供事業者

収集データの販売チャネルとして
TDPFへの期待値がある

スタートアップ企業

東京都が関与するPFでビジネスを
行っていること自体が他社へのア
ピールに繋がるという期待がある

TDPFとしてユースケースを継続的に提案

TDPFにデータ・事業者
が集まる

TDPFでデータ・事業者
が繋がる

データ利用者ターゲット候補 (例)

データ関連サービス提供事業者

データセットの拡充として
TDPFへの期待値がある

ユースケースやデータ、事業者の繋がりを、
新たな参加者を誘う魅力とし、自発的な拡大を目指す

令和4年度 第7回施設系データ集約WG アジェンダ

1. これまでの振り返り
2. 前回WGからの各活動の更新
3. ケーススタディ事業の検討内容の共有
4. 来年度以降の活動に関するお知らせ

ケーススタディ事業：TOKYOトイレマップ

実施者：株式会社バカン

フォーマットの有効性や収集活動の展開に向けた期待値など、WG検討課題 に対して重要なフィードバックを得た

概要

官民のトイレ設備情報をベースに、バリアフリートイレのリアルタイム満空状況を付加して発信
ユーザーからの投稿も活用し、誰もがトイレに困らない世界を実現する。

実施内容

■ 渋谷駅周辺エリアでMAP型のトイレ情報（場所・トイレの評価・設備情報等）の提供サービス

実施速報

■ 実証やヒアリングを通じ、**WG成果のトイレデータフォーマットの有効性**を確認

■ **地元行政と連携**することで、民間施設への協力を円滑に実現

■ ユーザーコメントからトイレの不具合が発見され、迅速な対処に繋がるなど、
利用者参加型のデータ更新の可能性を確認

■ 施設管理者への情報フィードバックの手段として**TDPFが活用可能性**を確認

■ エリア団体等へのヒアリングを通じ、今後の**対象施設やエリア拡大への期待の高さ**を確認

令和4年度 第7回施設系データ集約WG アジェンダ

1. これまでの振り返り
2. 前回WGからの各活動の更新
3. ケーススタディ事業の検討内容の共有
4. 来年度以降の活動に関するお知らせ

来年度以降の活動に関するお知らせ

**TDPF稼働やユースケース創出支援に向けて、
具体的なアクションに落とし込んでいくことが非常に重要**

**データ収集の
モデルケース
確立**

施設系データの収集から
提供までのフロー・役割等
について、TDPFとしての
スタンス等整理が必要

**展開に
向けた準備**

ユースケースに基づいた、事業者への価値訴求の
提案に向けた体制・プロセス・マテリアル等を整理

TDPF参加者間でのビジネスマッチングや
データ利活用ニーズの明確化を
どのような形で行うのが効果的かの検討

次年度はいよいよTDPF稼働予定

上記検討課題等も踏まえ、引続きデータ利活用の課題やアイデアの共有等を通じ、ユースケース創出を目指す

稼働に向け随時情報発信していきますので、引続きTDPFの取組にご注目ください！

TDPF事業 今後の予定について

TDPFケーススタディ事業
プロジェクト成果報告会

2月20日
(月)
15時～
17時30分

実証事業の結果や事業を通じて得られた成果、見えてきた課題、今後の計画・展望について、各社より報告データ利活用事業の発展可能性とTDPFの今後の活用について議論する予定

イベント詳細はこちら⇒



参加申込みはこちら⇒



TDPF協議会
第7回推進会議

3月2日
(木)

令和4年度TDPF各事業の活動報告と今後の活動紹介や、TDPF事業計画についての発信をし、有識者との意見交換を実施予定

事務連絡

各WG終了後、全WG共通のアンケートを実施しております。

引続きご参加される方は、最後のWGにてご回答を、ここでご退出される方は、次スライドのQRコードよりご回答のほどお願いいたします。

※日付は現在の予定を含みます。²⁵

ご清聴ありがとうございました
施設系データ集約WGは以上で終了となります
次のプログラムのエリア連携データWGは11時25分から開始します

以下のQRコードかチャットに投稿したURLよりアンケートへのご回答をお願いします



※本アンケートは4WG分のアンケートです

- **ご退室される方**
ご参加されたWGの設問のみ
ご回答をお願いいたします。
- **以後のWGにも参加される方**
ご参加のWGが全て終了後に
ご回答をお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/Jj6z2ySyjH>